

第39回海洋開発シンポジウム

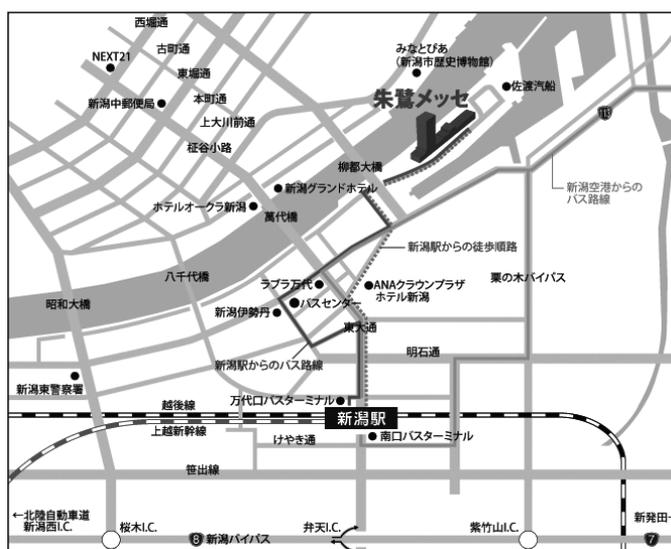
2014年6月26日[木] - 27日[金]

CPD 認定プログラム
JSCE14-0243 12.6単位

- 主催：土木学会（担当：海洋開発委員会）
- 後援：国土交通省北陸地方整備局、新潟県、新潟市
- 開催期日：2014年6月26日（木）～27日（金）
- 会場：朱鷺メッセ（新潟市中央区万代島6番1号）
<http://www.tokimesse.com/>
- 参加方法：参加無料、自由参加（事前の申込は不要です。当日会場へ直接ご来場ください。）
- 講演集：講演集（CD-ROM媒体）は、委員会ホームページにて事前販売および当日販売いたします。
価格：2,000円（消費税、送料込）
- 発表時間：1論文15分（発表10分、討議5分）
- 懇親会：（1）日時：6月26日（木）18:00～
（2）場所：新潟グランドホテル（朱鷺メッセからは信濃川を挟んで対岸になります）
朱鷺メッセ1階の信濃川サイドのデッキから17:00に水上バスが出ます。

- 参加費・受付：7,000円、シンポジウム会場総合受付にてお申し込みください。
- 見学会：（1）日時：6月27日（金）13:00～15:30
（2）見学場所：新潟西港、新潟西海岸、新潟沈埋トンネル左岸立坑、水理実験場
（3）参加費・受付：無料、海洋開発委員会ホームページでご案内します。
（4）定員：20名程度

※プログラム等の詳細につきましては、土木学会海洋開発委員会ホームページをご覧ください。（<http://www.jsce.or.jp/committee/ocean/>）
※本シンポジウムは、土木学会CPD（継続教育）プログラムとして認定されています。
※問合せ先：土木学会事務局 研究事業課（担当：岩西）
TEL03-3355-3559



JR新潟駅より徒歩20分、タクシー5分、路線バス（佐渡汽船行き「朱鷺メッセ」バス停下車）

1日目：2014年6月26日（木）

時間	第1会場 (3階301)	第2会場 (3階302 B)	第3会場 (3階302 A)	第4会場 (2階201 B)	第5会場 (2階201 A)
9:30 - 9:35	開会挨拶				
9:35 - 10:55	海洋における防災	津波の浸水・週上解析	海洋構造物の 施工技術・維持管理	海水と漂流物	水域環境の調査
11:05 - 12:35	海洋エネルギー1	津波避難対策	沿岸の調査技術	耐震設計	海域の生態系
12:35 - 13:35	昼休憩				
13:35 - 15:05	海洋エネルギー2	津波数値計算の高精度化	海岸侵食	土質・基礎	海域の生態系
15:15 - 16:35	特別セッションS-1 洋上風力発電の実用化へ向けて	特別セッションS-2 東日本大震災による海洋環境の変化			

2日目：2014年6月27日（金）

時間	第1会場 (3階301)	第2会場 (3階302 B)	第3会場 (3階302 A)	第4会場 (2階201 B)	第5会場 (2階201 A)
9:00 - 10:20	港湾計画	津波波力1	海浜変形1	海底地盤の改良	干潟
10:30 - 11:50	海域の波と流れ	津波波力2	海浜変形2	地震動と地盤	海域の水質
11:50 - 12:50	昼休憩				
12:50 - 14:10	長周期波	津波波力3	侵食対策と自然再生	船舶と航行	水質と流動
14:20 - 15:40	護岸と越波	粘り強い構造	漂砂	運輸の防災・減災	高潮
15:50 - 17:10	消波構造物	津波越流	侵食対策工法		
17:15 - 17:25	閉会挨拶				

【発表者のみなさまへ】

- 発表時間は、1論文15分（発表10分、討議5分）です。
- 発表方法は、会場に用意されたパソコンとプロジェクタによるプレゼンテーションのみとします。（OHP等不可）
- プレゼンテーションソフトは、「Microsoft Power Point2010」です。
- パソコン再生の互換性が低い動画ファイル（*.mpg, DivX）等の使用は控えて下さい。再生されない場合があります。
- 発表前の休憩時間に、会場に設置されたパソコンに、USBメモリ（各自持参）を使って、発表用ファイルをコピーして下さい。（CD-R, MO等不可）

【注意事項】二日目の各会場第一セッションは、開場からセッション開始まで時間が短いので、出来るだけ一日目の休憩時間や昼食時間に発表ファイルをコピーしてください。

- 各自持参のUSBメモリは、ご自身のパソコンで【ウイルスチェック】を事前に行ってください。

「第39回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第1会場(3階301)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
9:30~9:35 第一会場 開会挨拶 委員長						
6/28 (木)	9:35 ~ 10:55	海洋における防災 泉宮尊司 新潟大学	1	島田広昭	海岸利用者の津波に対する防災意識の経年低下	島田広昭 石垣泰輔 武藤裕則 馬場康之 大年邦雄
			2	橋詰知喜	函館市における「観光防災」の課題とその解決に向けた検討	橋詰知喜 永家志司 宮武誠 布村重樹
			3	大矢洋	東京湾における津波の被害予測と対策	大矢洋 柴山知也 関根佑貴
			4	富田孝史	沖合津波観測データを利用したリアルタイム津波ハザードマップシステムの開発	富田孝史 高川智博
			5	岡田弘三	沿岸気象海象情報配信システムの高度化	江ロー平 岡田弘三 中田琢志 内田洋平 窪田和彦 宇都宮好博
休憩 10分						
11:05 ~ 12:35	海洋エネルギー1 半沢稔 (株)不動テトラ	6	広田知也	三次元流れモデル内における潮流タービンの評価	猪波亜由未 広田知也 宮武誠	
		7	片山裕之	波力発電適地選定のための日本沿岸における波パワーの評価	片山裕之 米山治男 下迫健一郎	
		8	三好順也	瀬戸内海における橋脚下海洋空間を活用した潮流発電エネルギー量の算定	石垣衛 三好順也 清水聖治 藤井雅之	
		9	高田浩太郎	サブウイズ水車を用いた波力発電体の開発に関する実験的研究	高田浩太郎 森本真司 重松孝昌 加藤健司 藤本辰郎 吉岡真弥	
		10	居駒知樹	垂直軸可変ピッチ翼水車のソリディティとピッチ制御角度が水車効率に与える影響	居駒知樹 増田光一 中澤那世留 林昌彦 藤藤浩樹	
		11	木原一植	ユニット型空気タービン式発電装置(PW-OWC)の開発	木原一植 細川昌史 大澤弘敬 下迫健一郎 金谷泰邦 増田光一 永田修一 宮崎剛	
休憩 60分						
13:35 ~ 15:05	海洋エネルギー2 榊山勉 (財)電力中央研究所	12	阿部洋士	流制御板を設けた潮流発電装置に作用する流体力に関する実験的研究	井内国光 阿部洋士 Firman Husain 中村孝幸	
		13	國里立紀	大島海峡における潮流エネルギーポテンシャルに関する研究	國里立紀 加古真一郎 山城徹 中川智文 城本一義	
		14	間瀬肇	日本沿岸海域の風況・波浪マッピング	間瀬肇 Tracey H Tom 池本藍 志村智也 安田誠宏 森信人	
		15	白石悟	港湾における風力発電の導入および風力発電によるスマートエネルギー利用への展望	白石悟 下迫健一郎 米山治男 牛山泉 西沢良史 細見雅生 小川路加 永井紀彦	
		16	福山貴子	洋上風力発電設備基礎に作用する現地波圧特性と確率的評価法	福山貴子 池谷毅 福本幸成	
休憩 10分						
15:15 ~ 16:35	特別セッション S-1 洋上風力発電の実用化へ 向けて トヨタグループ 永井紀彦(株)エコー ユニット 下迫健一郎(港湾空港技術研究所) 川口浩二(港湾空港技術研究所)	S1-1	宇都宮智昭	浮体式洋上風力発電の実用化に向けて一五島市稚島における実証事業一	宇都宮智昭 佐藤郁 白石崇 乾悦朗 石田茂貴	
		S1-2	坂本登	北九州市沖における洋上風力発電事業の実現を目指した実証研究	坂本登 築地治雄 中嶋周作 青木功 川口浩二 永井紀彦 仲井圭二	
		S1-3	福本幸成	鏡子沖実証研究による波浪・浪圧特性の解明を通じた洋上風力発電の実用化への課題	福本幸成 前田修 福山貴子 池谷毅 福種聡 岩前伸幸 宇佐美栄治 石原孟	
休憩 10分						

「第39回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第1会場(3階301)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
6/27 (金)	9:00 ~ 10:20	港湾計画 木村克俊 室蘭工業大学	17	金田孝之	港湾再開発における公民共同に関する実証的研究	金田孝之 近藤健雄 桜井慎一 宇崎崎崇寛
			18	川崎一平	後背地理論再考:港湾都市根室における社会調査報告	川崎一平 山田吉彦 川上哲太郎
			19	里村大樹	コンテナターミナルにおけるゲート処理の効率化検討	里村大樹 水谷雅裕
			20	大塚夏彦	北極海航路によるバルク貨物の海上輸送コストの分析	大塚夏彦 古市正彦 泉山耕 中野佑哉
			21	市村康	オープンデータを用いた定量的海岸景観評価手法に関する研究	市村康 松原雄平 五島幸太郎
休憩 10分						
10:30 ~ 11:50	海域の波と流れ 伊藤一教 大成建設(株)	22	古城鉄也	画像解析手法を用いた密度成層場における噴流の海水混合評価に関する研究	遠藤徹 古城鉄也	
		23	武田真典	人工海床山脈による鉛直混合現象の実態把握	武田真典 吉塚靖浩 岡野裕 高野聖之 岡野隆行 本田瑛一 鈴木達雄	
		24	白木善章	沖縄海域の現地観測にみられる流動特性について	金城賢 古川哲己 白木善章 柴木秀之	
		25	柴木秀之	沖縄諸島及び先島諸島における高精度波浪推定手法に関する研究	金城賢 古川哲己 柴木秀之 鈴山勝之	
26	日野幹雄	微小振幅波理論の波長近似式に関する一総括	山口正隆 野中浩一 畑田佳男 日野幹雄			
休憩 60分						
12:50 ~ 14:10	長周期波 森屋陽一 五洋建設(株)	27	小窪一毅	異なる斜面勾配における内部ケルビン波の砕波により誘起される流れ	小窪一毅 中山恵介 新谷谷也 大塚淳一 渡部靖憲 柿沼太郎 駒井克昭 清水健司	
		28	新原亜希子	女島の水位データを用いた九州西岸域における副振動の発生予報に関する検討	池田奈保子 新原亜希子 山城徹 浅野敏之 齋田倫範 城本一義 加古真一郎	
		29	仲井圭二	沖合と沿岸における長周期波の周波数特性の違い	仲井圭二 橋本典明 藤田恭史	
		30	長沼淳也	拘束波由来の港内長周期波を考慮した港内静穏度解析	平山克也 加島寛章 長沼淳也 宇野善之	
		31	平山克也	ビジネスモデルに導入したネスティング計算の適用性	平山克也 岩瀬浩之	
休憩 10分						
14:20 ~ 15:40	護岸と越波 水谷流美 名古屋大学	32	村上啓介	フレア型護岸隅角部の越波低減対策に関する検討	村上啓介 真木大介 竹島重人 杉本直彦 陶山亮哉	
		33	加島寛章	護岸背後の越波排水路内水位の算定とその検証	加島寛章 平山克也 川内清光	
		34	鈴山勝之	波浪が越流量に与える影響の見積と特徴	鈴山勝之 鈴山勝之 柴木秀之	
		35	越智聖志	護岸背後への越波による盛土被害の再現実験	越智聖志 木村克俊 宮武誠 上久保勝美	
36	平石哲也	海洋用網袋式ユニットの性能評価に関する実験的研究	黒田美里 井上和徳 土橋和敬 平石哲也			
休憩 10分						
15:50 ~ 17:10	消波構造物 久保田真一 (株)不動テトラ	37	石井敏雅	消波ブロック被覆傾斜堤の消波工被覆状態による上部工の波力特性と波高伝達特性への影響検討	石井敏雅 富田沙希 小池謙一郎 榊山勉 赤岡茂樹 太田京助	
		38	石橋邦彦	波および流れによる捨石堤および消波ブロック堤の安定性に関する実験的研究	松本和記 泉宮尊司 石橋邦彦	
		39	本山賢司	急勾配地形の浅い水深に設置した消波ブロック被覆堤のブロックの安定性	本山賢司 上久保勝美 山本泰司	
		40	鍵本慎太郎	堤体下部に重量部を設けた二重遊水室型防波堤の消波機能と海水交換機能について	中村孝幸 鍵本慎太郎 Firman Husain	
41	末永慶寛	振動水柱を格納した波浪エネルギー吸収型消波構造物に関する研究	末永慶寛 小泉勝彦 山中稔 長谷川修一			
17:15~17:20 第一会場 閉会挨拶 幹事長						

「第39回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第2会場(3階302 B)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名																		
9:30~9:35 第一会場 開会挨拶 委員長																								
6/28 (木)	9:35 ~ 10:55	津波の浸水・遡上解析 川崎浩司 (株)ハイロソフト技術研究所	42	本間真平	大船渡湾口における2011年東北地震津波挙動の動面解析	本間真平	鈴木崇之	佐々木淳																
			43	工代健太	南海トラフ巨大地震を想定した岡山市の津波遡上解析	工代健太	吉田圭介	前野詩朗																
			44	二階堂竜司	一般座標系を適用した河川の津波遡上計算 ~利根川における東北地方太平洋沖地震津波の再現~	二階堂竜司	青木伸一	田村浩毅	神保正暢	栗山広宣														
			45	坂井良輔	海底噴火に伴う桜島北部海域内の津波の数値解析	坂井良輔	尾山浩太郎	浅野敏之																
			46	清重直也	島根原子力発電所における浸水解析を用いた津波防壁の設計	清重直也	吉次真一	大久保佳美	河原和文	西畑剛	伊野野	琴浦毅												
休憩 10分																								
11:05 ~ 12:35	津波避難対策 佐々木淳 東京大学	47	渡辺一也	浮体式津波避難シェルターを利用した津波避難に関する検討	渡辺一也	松谷和明																		
		48	松本弘史	浮体式津波避難施設の運動予測に関する研究	松本弘史	重松孝昌																		
		49	HE LULU	Drift Behavior of Automobiles in Tsunami	HE LULU	YAMAUCHI Shintaro	KIOKA Wataru	TAKAHASHI Rikuya																
		50	根笹裕太	津波の作用と洗掘の発生に伴う陸上構造物の移動とその対策法に関する研究	中村友昭	根笹裕太	水谷法美																	
		51	野島和也	実務的な津波漂流物計算および被害推定方法の提案	野島和也	櫻庭雅明	小園裕司																	
52	不動雅之	漁港における防波堤と防潮堤による多重防護の適用検討事例	不動雅之	中村隆	磯部雅彦	長野章	中泉昌光	後藤卓治																
休憩 60分																								
13:35 ~ 15:05	津波数値計算の高精度化 高木泰士 東京工業大学	53	高橋研也	津波来襲時の地下管路内における気液二相流の圧力変動に関する実験的研究	高橋研也	西畑剛																		
		54	川崎浩司	3次元気液多相乱流数値モデルDOLPHIN-3Dへの高精度界面捕獲法THINC/WLIC法の導入	川崎浩司	松野哲弥																		
		55	奥村弘	GPUとMPIによるCADMAS-SURF/3Dのハイブリッド並列化と検討	奥村弘	有川太郎																		
		56	林達也	数値波動水槽を用いた津波越流時における防波堤の安定性の検討	有川太郎	林達也	鈴木崇之	下迫健一郎																
		57	石河雅典	津波越流に対する曲線形海岸堤防の粘り強さに関する数値解析	石河雅典	上月康則	山中亮一	大久保陽介																
休憩 10分																								
15:15 ~ 16:35	特別セッション S-2 東日本大震災による海洋環境の変化 トウモロコシ 二階堂竜(東京理科大学) フナトトウモロコシ 下迫健一郎(港湾空港技術研究所) 鈴木崇之(横浜国立大学)	S2-1	古谷龍太郎	岩手県宮古湾における東北地方太平洋沖地震津波後の水質環境の現地観測	村上智一	古谷龍太郎	小笠原敏記	下川信也																
		S2-2	田中仁	津波による大規模海浜変形とその後の回復過程	田中仁	三戸部佑太	VO Cong Hoang																	
		S2-3	坂巻隆史	震災による宮城県沿岸における生態系の変化	坂巻隆史	西村修																		
休憩 10分																								

「第39回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第2会場(3階302 B)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名																		
6/27 (金)	9:00 ~ 10:20	津波波力1 中村友昭 名古屋大学	58	木村雄一郎	フラップゲート式防波堤の津波に対する抵抗機構に関する実験的研究	木村雄一郎	水谷征治	山下徹	清宮理	平石哲也	間瀬聖													
			59	榎田真也	透過型の津波対策防護構による浸水低減効果と波力に関する実験的研究	榎田真也	斎藤武久	古路裕子	中口彰人	石田啓														
			60	末長清也	多柱構造物に作用する津波波力に関する実験的研究	末長清也	岩前伸幸	池谷毅	秋山義信	館野公一	鈴木紀雄													
			61	池谷毅	圧力分布を考慮した柱体に作用する津波波力評価モデル	池谷毅	岩前伸幸	末長清也	秋山義信	館野公一	鈴木紀雄													
			62	荒川貴信	海中鋼製フレームの耐津波安定性に関する実験的研究	東山和博	下迫健一郎	荒川貴信																
休憩 10分																								
10:30 ~ 11:50	津波波力2 織田幸伸 大成建設(株)	63	中島彰	護岸を越流した津波による陸上構造物への作用波力とその評価手法に関する研究	中村友昭	中島彰	水谷法美																	
		64	有光剛	陸上構造物への作用波圧に及ぼす遡上津波の入射角の影響	有光剛	大江一也	川崎浩司																	
		65	澤祐太郎	橋桁に作用する津波による波圧および波力の特性に関する実験的研究	中村友昭	澤祐太郎	水谷法美																	
		66	長谷川巖	リーフ上防波堤の耐津波安定性	長谷川巖	田中聡	安田将人	吉平健治	前里尚															
		67	大村英昭	波形特性を再現した防潮堤に作用する津波波力実験	大村英昭	尾崎克弘	平田一穂	秋山義信	岩前伸幸	池谷毅														
休憩 60分																								
12:50 ~ 14:10	津波波力3 藤井直樹 東電設計(株)	68	柳川竜一	津波浸水深と建物密集度に着目した東日本大震災津波に関する建物被害特性	柳川竜一	堺茂樹																		
		69	泉宮尊司	津波波力および建物耐力の確率分布を考慮した被害確率分布の評価法に関する研究	泉宮尊司	吉田裕一	石橋邦彦																	
		70	Hartana	Three Dimensional Two-Phase Flow Analysis of Tsunami Pressures and Forces Acting on a Building with Openings	Hartana	Keisuke Murakami																		
		71	本田隆英	ピロティ構造を対象とした津波波力に関する実験的研究	本田隆英	織田幸伸	伊藤一教	渡辺征晃	高島知行															
		72	高島知行	津波来襲時に取放水路天端に作用する揚圧力に関する基礎的研究	高島知行	伊藤一教	織田幸伸	本田隆英																
休憩 10分																								
14:20 ~ 15:40	粘り強い構造 富田孝史 (株)港湾空港技術研究所	73	松下益貴	偶発作用に対するカウンターウェイトブロックの性能評価に関する実験的研究	松下益貴	平石哲也	間瀬聖	岸本治																
		74	砂川透香	女川湾湾口防波堤での被覆ブロック連結による粘り強い構造の安定性実験	砂川透香	齋藤秀一	鈴木信夫	瀬良良二	辻尾大樹	小笠原敏記														
		75	大井邦昭	粘り強い構造の海岸堤防法則におけるブロックの転倒・離脱機構	大井邦昭	林達二郎	河野茂樹																	
		76	辻本剛三	津波の越流による防波堤や防潮堤背後の被覆ブロックの有効性に関する研究	辻本剛三	土田理紗子	石坂敦史	柿木智哉	宇野宏司															
		77	峯浦亮	混成堤ケーソン港内側に作用する越流津波による波力と転倒防止策に関する研究	中村友昭	峯浦亮	澤祐太郎	水谷法美	小竹康夫															
休憩 10分																								
15:50 ~ 17:10	津波越流 稲垣聡 鹿島建設(株)	78	飯干富広	津波越流時に海岸堤防面および法尻保護工に作用する流体力特性に関する研究	飯干富広	前野詩朗	吉田圭介	高田大貴																
		79	小竹康夫	防波堤を越流する津波の水理特性に関する実験的研究	宮田正史	小竹康夫	竹信正寛	中村友昭	水谷法美	浅井茂樹														
		80	澤田豊	防波堤背後の洗掘が水平抵抗力に及ぼす影響	澤田豊	河端俊典																		
		81	中村友昭	海岸堤防を越流する津波と裏法尻の洗掘に関する数値解析	中村友昭	水谷法美																		
		82	佐々真志	津波越流一浸透連成作用による防波堤の不安定化機構と腹付け効果の検証	佐々真志	高橋英紀	森川嘉之	高野大樹	丸山憲治															
17:15~17:20 第一会場 閉会挨拶 幹事長																								

「第39回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第3会場(3階302 A)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名															
9:30~9:35 第一会場 開会挨拶 委員長																					
6/28 (木)	9:35 ~ 10:55	海洋構造物の施工技術・維持管理 大中晋 日本工営(株)	83	福田俊	矢板式岸壁の腐食孔からの土砂吸出し現象に関する数値解析	中村友昭	福田俊	水谷法美													
			84	武田将英	前垂れによる棧橋上部工コンクリートへの塩分供給量の低減効果に関する現地実験	武田将英	下道健一郎	山路徹	羽淵貴士	網野貴彦	花岡大伸	津田宗男									
			85	志水克成	隔極取付時の海洋鋼構造物の電位変化から考察する電気防食の最適設計	志水克成	齊藤直	松尾定													
			86	川瀬恭平	波が鉛直壁に衝突した際に生じる飛沫の発生初期における飛散特性	武田将英	川瀬恭平	重松孝昌	津田宗男	羽淵貴士	網野貴彦										
			87	佐藤徹	港湾施設の空洞化調査に関する報告	佐藤徹	加藤純万	川瀬健一郎	岡崎慎一郎												
休憩 10分																					
11:05 ~ 12:35	沿岸の調査技術 山本吉道 東海大学	88	岸本周平	都市河川河口の地形・水環境の年変化	宇野宏司	木下歩	岸本周平	辻本剛三	柿木哲哉												
		89	芝田浩	赤潮の被害低減に向けた観測システムにおける漂流プイの適用とデータの可視化	芝田浩	三宅尖嗣	浜崎洋	徳田太郎	松山幸彦	岡辺拓巳											
		90	倉原義之介	人工干潟における生態系のモニタリング手法に関する検討	倉原義之介	増田龍哉	御園生敏治	田中ゆうこ	滝川清												
		91	高橋英紀	波打帯における地盤応答問題への遠心模型実験の適用性	高橋英紀	森川嘉之	加島寛章														
		92	山本浩一	デジタルカメラを用いた粘着性底泥の再懸濁試験装置の開発と現地適用	山本浩一	速水祐一	中野龍一	神野有生	関根雅彦												
93	酒井和也	海岸保全施設の点検手法についての新たな提案	宇多高明	酒井和也																	
休憩 60分																					
13:35 ~ 15:05	海岸侵食 鈴木崇之 横浜国立大学	94	森下祐	複雑な実港湾地形を対象とした津波による土砂移動特性の考察	森下祐	高橋智幸															
		95	三田航平	富津岬北岸の漂砂特性と2011年大津波による砂の押し込み	三田航平	小林昭男	宇多高明	野志保仁													
		96	Akhmad Adi Sulianto	Local Scouring on Gravel Mound due to Tsunami Overflow and Its Countermeasure	Akhmad Adi Sulianto	Keisuke Murakami	Tokutomi Yuki	Kouchi Ueno													
		97	Lusia Manu	Long-term evolutions of Shirakawa River delta due to the extreme events	Lusia Manu	Takafumi Tsukamoto	Kohei Nakanishi	Hajime Shirozu	Takaomi Hokamura	Sota Nakajo	Yoshiaki Kuriyama	Fumihiko Yamada									
		98	本郷延悦	西湘海岸の侵食と高波浪による西湘パークングエリアの護岸の被災	本郷延悦	石川仁憲	宇多高明	三波俊郎													
99	李裕群	千葉県九十九里浜北部の野手海岸で進む侵食と津波対策	宇多高明	大木康弘	酒井和也	李裕群															

「第39回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第3会場(3階302 A)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名															
6/27 (金)	9:00 ~ 10:20	海浜変形1 三島豊秋 (株)ハイドロソフト技術研究所	100	芹沢真澄	島により波が遮蔽された条件での湾口砂州変形の数値計算	芹沢真澄	宇多高明	宮原志帆													
			101	小林昭男	BGモデルによる富津岬先端部砂州の大変動の再現計算	芹沢真澄	宇多高明	小林昭男	宮原志保												
			102	宮原志帆	陸繋砂州の発達予測モデル	宇多高明	芹沢真澄	宮原志帆													
			103	堀江岳人	瀟湘湖における湖内砂州の発達要因	堀江岳人	鎌田英仁	仁禮昭雄	橋本孝治	橋本祐祐	中村精治	近藤俊郎	田中仁								
			104	相原佑紀	関門航路におけるサンドウェーブの形成過程に関する研究	横田龍紀	山城賢	相原佑紀	橋本典明	春日井康夫	上島駿司	有吉直明	上原幸生								
休憩 10分																					
10:30 ~ 11:50	海浜変形2 片山裕之 五洋建設(株)	105	北村俊介	千葉県日在浦海岸における海浜変形	野志保仁	北村俊介	宇多高明	小林昭男	星上幸良												
		106	戸巻昭三	苫小牧海岸における海浜地形に影響を及ぼす前浜勾配とbarの岸沖移動に関する考察	戸巻昭三	佐藤寿彦	竹沢三雄	後藤浩													
		107	渡部雅也	石川県内灘海岸における汀線変動とリズムク地形の形状特性に関する基礎的研究	由比政年	渡部雅也	吉崎平太	松山正之	黒崎弘司												
		108	大中晋	Bali海峡に面したPengambangan漁港周辺の海浜変形	宇多高明	大中晋	芹沢真澄														
		109	澁谷容子	等深線変化モデルによる気候変動に伴う長期海浜変形予測と影響評価	澁谷容子	黒岩正光	林健太郎	池田健太	森恒人	松原雄平	間瀬肇										
休憩 60分																					
12:50 ~ 14:10	侵食対策と自然再生 輪崎賢一 群馬大学	110	草木大地	神向寺・明石海岸での礫層上への砂の堆積機構の観測	小林昭男	草木大地	宇多高明	野志保仁													
		111	小澤弘樹	福井県鹿港防波堤背後の和布地区にある天然プールへの堆砂機構	宇多高明	星上幸良	古池顕	小澤弘樹													
		112	細川順一	粗粒材養浜による茅ヶ崎中海岸の保全と隣接海水浴場への礫の広が防止策	宇多高明	石川仁憲	三波俊郎	細川順一	佐々木常光	古池顕											
		113	山城明統	養浜による砂浜復元とアオウミガメの産卵地の回復-伊良部島の長山の浜の例	仲智智	山城明統	宇多高明	石川仁憲	横井治男	三波俊郎											
		114	長山昭夫	屋久島いなか浜に上陸するウミガメの産卵活動と海浜環境の相関に関する基礎的研究	長山昭夫	古田島樹	田中龍光														
休憩 10分																					
14:20 ~ 15:40	漂砂 鷺見浩一 日本大学	115	荒川大輝	上総湾の湊川から磯根崎で進む海岸侵食とその機構	荒川大輝	小林昭男	宇多高明	野志保仁	星上幸良												
		116	大木康弘	九十九里浜北部における海浜砂の粒径分級	宇多高明	水垣浩	宇野寛一	大木康弘	酒井和也												
		117	仁科晴貴	流れ・波浪による石灰炭酸粒物の移動境界に関する研究	仁科晴貴	中本健二	河内友一	磯野和俊													
		118	Yonghwan Cho	An experimental study on influences of cohesive sediments on sediment transport of mixed soil	Yonghwan Cho	Manami Nakamura	Tomoaki Suzuki	Norimi Mizutani													
		119	本田秀樹	カルシウム改質土を用いた人工干潟修復工法の開発	本田秀樹	林正宏	谷敷多穂	土田孝	亀山武士	高得真	杉原広晃	熊谷隆宏									
休憩 10分																					
15:50 ~ 17:10	侵食対策工法 小林昭男 日本大学	120	野口賢二	低干端突堤の効果と副作用軽減に関する水理模型実験	野口賢二	諏訪義雄	岩佐隆広	伊藤善義													
		121	宇多高明	Bali島のSanur Beach南東部のリーフギャップ背後のY字突堤沖への堆砂機構	宇多高明	芹沢真澄	宮原志帆	三波俊郎													
		122	千秋智和	福井県浜住海岸の人工リーフの改良案の検討	宇多高明	松井隆佳	千秋智和	星上幸良	小澤弘樹	芹沢真澄											
		123	Ajong Nopmueng	タイ国でのマングローブ林の特徴と海岸侵食防止効果	Ajong Nopmueng	山本吉道															
		124	越川義功	華方格原理を応用した石灰炭酸粒物基盤の侵食防止工	越川義功	新保裕美	中下慎也	日比野忠史	田中昌宏	中本健二	磯野和俊										
17:15~17:20 第一会場 閉会挨拶 幹事長																					

「第39回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第5会場(2階201 A)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
6/28 (木)	9:30~9:35 第一会場 開会挨拶 委員長					
	9:35 ~ 10:55	水域環境の調査 宇野宏司 神戸市立工業高等専門学校	162	玉井昌宏	琵琶湖の水泳場の底質の色彩と流域地質との関係	玉井昌宏 辻本剛三
			163	五明美智男	技術コミュニケーションを促す住民視点の水域底質改善の試み	五明美智男
			164	田井明	有明海の物理環境に関する漁業者を対象としたヒアリング結果と科学的知見の比較	田井明 田中香
			165	加茂茂	福島県松川浦における淡水流入量の推定および浦口周辺の水圏環境調査	加茂茂 鈴木信 和田敏裕 岩崎高貴 渡辺卓也 西隆一郎 鶴成悦久
	166	渡辺国広	セットバックにより出現した砂浜空間における海浜植生の成立過程に関する現地調査	渡辺国広 草加達太 稲田敏昭 諏訪義雄		
	休憩 10分					
	11:05 ~ 12:35	海域の生態系 鎌瀬孝生 東京大学	167	大橋正臣	鶴川沿岸の基礎生産に及ぼす光環境の影響に関する研究	大橋正臣 河合浩 三上信雄 水垣滋 大村智宏 山本潤 門谷茂
			168	矢北孝一	八代海におけるアマモ場の生育構造の現地環境観測	矢北孝一 森本剣太郎 御園生敏治 増田龍哉 滝川清 秋元貴美 吉田由美
			169	佐藤仁	生分解性素材を用いた磯焼け海域での海藻育成と藻食性動物への給餌手法の開発	佐藤仁 岡元節雄 関口浩二 木松敬一郎 黄金崎清人 山本潤 山下俊彦
			170	廣瀬紀一	環境共生機能に配慮した新型ブロックの効果検証現地調査	廣瀬紀一 柴田早苗 若林信孝 昇悟志 三井順 浜口正志
			171	間辺本文	ズワイガニ・アカガレイ保護育成礁(日本海西部地区)の効果	間辺本文 菅原吉浩 本田耕一 澤田竜夫 浅見龍彦 塚本邦芳 伊藤靖 三浦浩
	172	篠崎知美	生物共生型護岸におけるアサリの個体群動態と窒素浄化量	篠崎知美 三戸勇吾 亀山豊 菅野孝則 村上和男		
	休憩 60分					
	13:35 ~ 15:05	海域の生態系 桑江朝比呂 (独)港湾空港技術研究所	173	蔵持登士江	西表島北西部における熱帯性海草ウミシロウの広域分布および生育環境条件について	竹山佳奈 河野裕美 蔵持登士江 岩崎彰加 村上智一 木村賢史 鶴崎亮行 中瀬浩太
			174	村上智一	生態調査に基づく西表島網取湾におけるウミシロウ種子の分散力の数値解析	村上智一 河野裕美 岩崎彰加 蔵持登士江 下川信也 木村賢史
175			横山佳裕	数値シミュレーションを用いた博多湾におけるアサリ浮遊幼生の挙動解析	横山佳裕 藤井峻彦 中嶋雅孝 内田唯史	
176			穴口裕司	貝殻構造物の物質循環促進機能	穴口裕司 藤澤真也 田中丈裕 田上英明 伊藤靖	
177			小林薫	ホタテ貝殻を用いた成層傾斜キャベラリーバリアの境界長に関する研究	小林薫 松元和伸 森井俊広 中房信 鳥居直之	
178			上月康則	大阪湾湾奥・尾崎港での海~陸での栄養塩循環の活動と評価の試み	上月康則 中岡植雄 中西敬 森木登志也 玉井卓也 森紗綾香 山中亮一 奥嶋政嗣	

「第39回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第5会場(2階201 A)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
6/27 (金)	9:00 ~ 10:20	干潟 中川康之 (独)港湾空港技術研究所	179	中本健二	ヘドロ堆積干潟での底質浄化能力を持つ作業構築技術の開発	中本健二 廣中伸孝 樋野和俊 日比野忠史
			180	日比野忠史	アルカリ剤造粒物により浄化された河岸ヘドロの有機物特性評価	日比野忠史 中本健二 廣中伸孝 樋野和俊
			181	竹山佳奈	造成した干潟の底生生物相の初期遷移および好適地盤環境条件と微地形の効果	竹山佳奈 佐々真志 中瀬浩太 牧野武人
			182	鶴成悦久	鹿児島湾奥部に位置する重富干潟の地形特性	鶴成悦久 西隆一郎 浜本麦 瀬野浩徳 池田克彦 加茂茂 渡辺卓也
			183	齊藤直	自然再生推進法に基づく中海自然再生事業	齊藤直 桑原智之 相崎守弘 徳岡隆夫
休憩 10分						
10:30 ~ 11:50	海域の水質 武田将美 東亜建設工業(株)	184	矢野真一郎	諫早湾干拓事業が与えた有明海の塩淡水バロクリニック構造への影響に関する検討	矢野真一郎 西村圭石	
		185	高山百合子	海洋工事における濁り予測のための簡易流況計算手法に関する研究	高山百合子 伊藤一教 横田寺伸 片倉徳男	
		186	齋藤孝	八代海における有害赤潮藻 <i>Chattonella antiqua</i> のHSMIモデルによる発生予測手法の検討	齋藤孝 滝川清	
		187	金山進	海水中に積層された製鋼スラグからのアルカリ溶出に関する検討	金山進 斎倉宏史 水谷聡 加藤嘉英 高橋克則 木曾英波 平井直樹 宮崎哲史	
		188	吾妻咲季	富栄養化した海浜公園における底質改善材の比較検討	吾妻咲季 村上和仁 五明美智男 天野佳正 中村明彦	
休憩 60分						
12:50 ~ 14:10	水質と流動 金山進 五洋建設(株)	189	園田吉弘	観測データによる、有明・八代海海域における水温、塩分、潮位の時系列変動特性	園田吉弘 滝川清 荒巻智子 川崎信二 齋藤孝	
		190	鈴木一輝	海象観測データに基づく台風0918号襲来時における三河湾の水塊構造の変動特性	川崎浩司 鈴木一輝 高杉有輝 青木伸一	
		191	吉江祐人	コムケ湖における水質及び流動特性の解明	吉江祐人 丸谷靖幸 中山恵介 駒井克昭 新谷哲也 渡辺謙太 一見和彦 桑江朝比呂	
		192	駒井克昭	コムケ湖における干潟水質の分布・変動特性に関する検討	駒井克昭 中山恵介 松原健也 川口貴之 山崎新太郎 渡辺謙太 一見和彦 桑江朝比呂	
		193	田多一史	北海道コムケ湖における大気-海水間CO2フラックスの空間分布特性と要因分析	田多一史 所立樹 渡辺謙太 茂木博匡 桑江朝比呂	
休憩 10分						
14:20 ~ 15:40	高潮 柴木秀之 (株)エコー	194	鈴木武	GHG濃度経路に基づく気候変動予測を受けた高潮被害の予測	鈴木武	
		195	田辺智子	MRI-AGCM3.2Sの台風強度特性を考慮した有明海における高潮の将来予測に関する検討	田辺智子 横田雅紀 山根知洋 児玉克由 山城賢 橋本典明	
		196	高木泰士	2013年台風Yolanda(Haiyan)の統計的分析および高潮の調査と数値解析	高木泰士 三上貴仁 柴山知也 松丸亮 山崎新太郎 Esteban Miguel Esteban Nguyen Danh Thao 中村亮太	
		197	三上貴仁	2013年台風Yolanda(Haiyan)による高潮災害の調査と分析	柴山知也 松丸亮 高木泰士 Mario de LEON Miguel ESTEBAN 三上貴仁 大山剛弘 中村亮太	
198	松丸亮	2013年台風Yolanda(Haiyan)時の災害情報の伝達と住民の避難行動に関する分析	Esteban Miguel 松丸亮 高木泰士 三上貴仁 柴山知也 Mario De Leon Ven Paolo Valenzuela Nguyen Danh Thao			
17:15~17:20 第一会場 閉会挨拶 幹事長						